開明都市函館の遺産「重要文化財」（その３）

中尾 仁彦　箱館歴史散歩の会主宰
第１回 函館検定 上級試験合格

昨年「中空土偶」が北海道第１号の国宝に指定され、私たちは函館の文化財に対して認識を新たにしました。歴史上、芸術上、学術上価値の高いものを総称して有形文化財といいます。そのうち重要なものを「重要文化財」と呼び、さらに世界文化の見地から特に優れたものが「国宝」となります。開明都市函館に「重要文化財」は７件あります。その歴史を３回に分けてご紹介してきました。今回はその最終回です。

５．遺愛学院「旧遺愛女学校」本館・旧宣教師館

遺愛女学校は北海道で一番古い外国人経営の学校です。明治７年、米国メゾジスト監督協会牧師兼米国領事のハリス夫妻が聖書や英語の授業をした「日々学校」が始まりです。その後ハリス夫人の資金集めに共鳴したキャロラインライト夫人の献金により､明治１５年（１８８２年）に元町（現遺愛幼稚園地）に開校、当初はキャロラインライトメモリアルスクールで３年後に遺愛女学校と改名します。最初は異人学校といわれ生徒は集まらず、１・２回卒業生３名はすべて弘前出身でした。建学精神の信仰、犠牲、奉仕は徐々に理解され生徒数も増加、校舎は手狭となります。

明治４０年、時任牧場から購入した原野の現在地・杉並町に校舎を新築します。しかし、同敷地に建築中の寄宿舎が火事にあったため､開校は延期されます。

その間、明治４０年の大火で元町校舎が類焼、明治４１年に正式に杉並町に移転開校しました。同時に建築された旧宣教師館（通称ホワイトハウス）は歴代の宣教師や校長の住居として使用され、現在残されている家具は当時のままです。

設計は立教大学の初代校長・設計家でも著名なガーディナーで、明治村にある旧京都五条教会（重要文化財）が代表作です。材料はすべてアメリカから運ばれ、北海道で最初といわれる蒸気式暖房設備も設置されました。しかし、人家もない雑草地に移転したためいつ廃校かと囁かれたそうです。太平洋戦争末期に１年間日本軍司令部に接収され、軍靴の鋲の跡が現在も残されるなどの苦難を乗り越えました。校庭の７０種類の木々、１００種類以上の草花に囲まれた美しい校舎・宣教師館は現在も開校当事のまま整備され、明治期に建てられた文化財の指定を受けた木造校舎で、現在使用されているのは京都の龍谷大学と遺愛学院だけです。宣教師館は平成１３年国の重要文化財に指定、さらに学校本館は平成１６年に追加指定されました。

６．北海道志海苔中世遺構出土銭

昭和４３年７月、函館市志海苔町の漁港付近で道路の拡張工事の際、古銭３７万５千枚が発見され、日本でこれだけ大量に発見されたのは初めてです。推定１４世紀に作られた越前および珠洲産の大甕３個に入っており、当時日本で一般に流通していた中国の北宋銭が全体の約９割を占めております。日本銭は僅か１５枚しかありませんでした。

当時この一帯の質の高い昆布は「宇賀の昆布」として北陸経由で京都・大阪方面に運ばれ、一級品として珍重されました。１４世紀の松前家の記録「新羅の記録」には、室町前期に毎年３回若狭から志海苔の昆布を買い取るため箱館港に入港の記述があります。出土したすぐ近くに、アイヌとの戦いから和人を守るための志苔館があり、建造目的は産物出荷の流通拠点を確保するためでした。これらの古銭は産物交易の膨大な利益金と考えられます。しかし誰が何の目的で蓄え、かつ埋設したかは謎だらけです。平成１５年国の重要文化財に指定され、現在函館市立博物館に展示されております。

７・大谷派本願寺『東本願寺』函館別院

東本願寺の歴史は古く、松前の専念寺の僧が木古内町を経て河野館の跡地の箱館へ宝永7年（１７１０年）寺を建てます。その後現弥生小学校敷地に移転。当時は浄玄寺と呼ばれ、幕末から明治初年までアメリカ領事館、また明治５年に北海道最初の邏卒本営（警察署）が置かれます。明治９年に明治天皇が宿泊するなど当時から函館一の名刹です。明治１２年の大火で類焼、２年後に元町の現在地に移転します。明治４０年の大火で再び焼失、明治４５年に耐火建築で工事を始めました。しかし住民は鉄筋コンクリートを理解できず、足で踏みつけた砂等を使用することは不浄、またコンクリートは脆弱なため危険であり大屋根を支えきれないと寄付が思うように集まりません。そこで檀家総代の三代目渡辺熊四郎は、棟上式でコンクリートの高床に函館中の芸者を集めて手踊りをさせます。さらに見物人も上げその安全性を確認した逸話が残っております。

その結果、寄付金も順調に集まり始めました。設計は京都東本願寺大師堂を手がけた伊藤平佐衛門、建築は木田保造。金子利吉が製造した３万６千枚の瓦を使用した大屋根が圧巻です。大正４年、鉄筋コンクリート造りの日本最初の寺院として完成。平成１９年国の重要文化財に指定されました。

次号からは、函館の医療についてご紹介していきます。どうぞ、お楽しみに。